

## 1. 略歴

1984年3月	お茶の水女子大学文教育学部哲学科 卒業（倫理学専攻）
1984年4月	東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学（倫理学専門課程）
1986年3月	同 修了
1986年4月	東京大学大学院人文科学研究科博士課程進学（倫理学専門課程）
1991年3月	同 単位取得退学
1991年4月	山口大学人文学部日本思想史学講座専任講師
1994年3月	東京大学大学院人文科学研究科において博士号（文学）を取得
1995年7月	山口大学人文学部日本思想史学 助教授
1996年4月	お茶の水女子大学文教育学部哲学科助教授（倫理学専攻）
2007年4月	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授（比較社会文化学専攻思想文化学コース） （改組に伴う配置換え）
2011年1月	同 教授
2013年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

倫理学原理論・日本倫理思想史・比較思想

### b 研究課題

日本思想の倫理的考察

### c 概要と自己評価

倫理学の中心問題である「何をなすべきか」という行為に対する問いを、その基盤となる「人は何であるのか」「世界は何であるのか」という存在の問いにまで遡って考えることを目指す。研究方法としては、日本語で書かれたテキストの思想構造を解明することを通じて、その世界観、人間観を検討するとともに、背後にあるコンテキストも探る。具体的には、道元、法然、親鸞、日蓮、盤珪、白隠などの日本仏教の思想を中心として、日本思想を幅広く扱っている。特に、和辻哲郎の倫理学、倫理思想史の方法について検討し、「間柄の倫理学」には収まらない超越との関係という側面から、新たな日本倫理思想史の構築を目指す。なお、和辻倫理学の対抗軸として、現在、日本民俗学の諸思想家（柳田國男、折口信夫など）を検討中である。これまでの研究は、個別思想家についてを中心としてきたが、今後は、それらを踏まえて新たな日本倫理思想史の構築に関する研究の比重を増やす予定である。

### d 主要業績

#### (1) 著書

単著、頼住光子、『正法眼蔵』入門、角川書店、2014.12

#### (2) 論文

頼住光子、「井筒俊彦と道元」、『道の手帖 井筒俊彦 言語の根源と哲学の発生』、2014.6

頼住光子、『正法眼蔵』「仏性」巻にみられる道元の世界観に関する一考察、『日本の哲学 第15号 日本哲学史フォーラム』、2014.12

頼住光子、「共生」をめぐる一考察—仏教・儒教・神道の観点から、『倫理学紀要 第22輯』、2015.3

頼住光子、「日本思想における「共生」」、『比較思想研究 第41号』、2015.3

頼住光子、『正法眼蔵』「摩訶般若波羅蜜」巻に関する一考察、『駒澤大學佛教學部論集』第四十六號、23-52頁、2015.10

#### (3) 書評

末木文美士、『現代仏教論』、『比較思想 第40号』、2014.3

小林道憲、『歴史哲学への招待 生命パラダイムから考える』、『比較思想 第40号』、2014.3

芹川博通、『「ともにいきる」思想から「いかされている」思想へ 宗教断章三十話【改訂版】』、『比較思想 第40号』、2014.3

智山伝法院編、廣澤隆之他監修、『近代仏教を問う』、春秋社、『比較思想研究』第41号、175-176頁、2015.3

末木文美士、『日本仏教入門』、角川学芸出版、『比較思想研究』第41号、172-173頁、2015.3

(4) 学会発表

国内、頼住光子、「日本思想における共生」、比較思想学会平成26年度大会、2014.7.20

国内、頼住光子、『正法眼蔵』「現成公案」巻の思想、駒澤大学仏教会平成二六年次大会、駒澤大学深沢校舎、2015.1.26

国内、頼住光子、「比較思想研究の方法論に関する一考察」、比較思想学会東京地区例会、大正大学、2015.3.7

国際、頼住光子、「Some Aspects of Watsuji Tetsuro's Ethics of Aidagara (Betweenness): On the Formation of His Ethics from the Viewpoint of His Ideas on Form and the Flow of Life」、"East Asian Ethics: Lessons from Japanese Confucianism"「日本儒學視域中的東亞倫理學」國際學術研討會、臺灣大學人文社會高等研究院、2015.8.21

国内、頼住光子、「日本思想の中の「無常」」、皇学館大学神道学会、皇学館大学、2015.11.20

(5) 啓蒙

頼住光子、「道元に学ぶ」、『佛教文化講座 第58集、浅草寺』、2014.8

(6) 会議主催(チェア他)

国内、「日本思想史研究会」、主催、2015.4.5

国内、「思想史の対話」(第一回)日本思想史学会総務委員会企画研究会、実行委員、2015.9.12

国内、「日本倫理思想史研究会」、主催、東京大学文学部、2016.3.20

(7) マスコミ

「良寛に学ぶ 上」、『東京新聞』『中日新聞』等、2014.5.17

「良寛に学ぶ 下」、『東京新聞』『中日新聞』等、2014.5.28

(8) 共同研究(産学連携除く)

国内、参画、岡山大学アジアキャンパス、「東アジアの共通善：伝統思想部会」、2015～

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、放送大学多摩センター、「「無常」を生きる—日本の思想・文化の中の「無常」」、2014.2

特別講演、朝日カルチャーセンター、「浄土思想と平等院」、2014.3

非常勤講師、法政大学文学部、「日本思想史1、2」、2014.4～2016.3

非常勤講師、朝日カルチャーセンター新宿校、「道元『正法眼蔵』を読む」、2014.4～2016.3

非常勤講師、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科、「演習」、2014.4～2016.3

非常勤講師、お茶の水女子大学文教育学部、「演習」、2014.4～2014.9

非常勤講師、京都大学文学部、「日本の仏教思想」、2014.8～

特別講演、文京学びの杜セミナー、放送大学文京センター、「やさしい仏教入門」、2014.8

特別講演、朝日カルチャーセンター(新宿校)、「井筒俊彦と仏教」、2014.12

特別講演、朝日カルチャーセンター(新宿校)、「空海思想と高野山」、2015.3

非常勤講師、お茶の水女子大学文教育学部、「演習」、2015.4～2015.9

非常勤講師、東北大学文学部、「日本の仏教思想」、2015.10～

(2) 学会

国内、日本倫理学会、評議員、2014.4～2016.3、編集委員、2015.4～、大会課題設定委員、2015.10～、大会実行委員、2015.10～

国内、日本仏教総合研究学会、評議員、2014.4～2016.3

国内、日本宗教学会、評議員、2014.4～2016.3

国内、実存思想学会、編集委員・理事、2014.4～2016.3

国内、比較思想学会、編集委員・理事、2014.4～2016.3

(3) 行政

中央教育審議会教育課程企画特別部会「社会・地理歴史・公民WG」、教育政策、委員、2015.12～